

## ■評価（案）

- ・評価は、物差案②（現状のまま）と比較し、  
項目②から⑦は新庁舎整備関連以外の施設を評価対象として、項目ごとに判定

## 凡例（判定）

- ◎：現状より「向上」 ○：「現状維持」もしくは「一長一短」 △：現状より「低下」  
※コストの評価のみ 削減効果大きい案を「◎」、削減効果がある案を「○」と判定

| 課題解決の狙い   | 評価項目   | い案   | ろ案  | は案   | 物差案①                                      | 物差案②                       |
|---|--|--|---|--|---|----------------------------|
| ①過度な財政負担が将来世代に残らない  | ●コストを長期的（50年間）に、どの程度削減できるか   | ◎<br>・物差案②よりもコスト減<br>・費用削減効果（4保育園を民営化した場合）<br>【▲23.8億円（▲44.2億円）】   | ○<br>・物差案②よりもコスト減<br>・費用削減効果（4保育園を民営化した場合）<br>【▲6.2億円（▲26.5億円）】 | ○<br>・物差案②よりもコスト減<br>・費用削減効果（3保育園を民営化した場合）<br>【▲8.4億円（▲24.1億円）】  | 【判定：◎】<br>・最もコスト減<br>・費用削減効果<br>【▲221億円】  | ・比較基準<br>・費用削減効果<br>【±0億円】 |
| ②空いた土地や既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る  | ●既存建物の有効活用方策は何か<br>●再配置前後で利便性はどのように変化するか<br>●市民の活動に必要なスペースや機能がまかなえるか | ◎<br>・太田小は、閉校後、地域の意向を踏まえた民間活用する（例：民間と協定を結び、一部を市民活動スペースとして利用するなど）<br>・東児童館は、売却・貸付による収入が期待   | ◎<br>・太田小は、閉校後も市が活用し、一部を市民活動に必要なスペースで利用できる                      | ◎<br>・太田小は、閉校後も市が活用し、一部を市民活動に必要なスペースで利用できる   | 【判定：△】<br>・順次施設が廃止となるため、利便性低下が懸念          | ・現状のまま                     |
| 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・下記より、多世代交流など市民活動に必要なスペースや機能が確保される<br>○新庁舎は、公民館の一部や交流スペースなどと複合化<br>○現区役所新館は、コミセンと公民館機能を集約し、コミュニティ拠点として整備<br>○現コミセン及び公民館の敷地は、駐車場として有効活用される<br>○現区役所本館の敷地の一部は、売却または貸付による収入が期待される |  |  |   |  |   |                            |
| ③子育ての環境を整え地域の魅力を高める   | ●新たに実現する子育て支援機能は何か<br>●各地区に住む子ども達が行きやすい範囲で子どもの活動スペースを確保できるか          | △<br>・東児童館が廃止となり、駅北側や駅付近の市民からの利便性が低下する   | ○<br>・現状の施設はほぼ維持されるため、現状よりも利便性が低下するエリアはない                       | ○<br>・当面の間、現状の施設はほぼ維持される<br>・すみれ保育園は建替え時に東児童館機能の一部と複合化し、機能強化される<br>・将来的に、東児童館が廃止となるが、すみれ保育園と児童センターに機能集約される | 【判定：△】<br>・順次施設が廃止となるため、機能低下が懸念           | ・現状のまま                     |
| 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・新庁舎に受付待ち時間などの子どもの居場所として「子どもふれあい広場」が新たに整備され、周辺施設との連携により子育て支援機能が強化される。  |  |  |   |  |   |                            |
| ④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくり地域を活性化させる   | ●新たに提供される若者の居場所はどこか<br>●高齢者・障がい者の居場所はどこか<br>●大学との連携の可能性はあるか          | 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・プラットフォーム型サービス機能（新庁舎と周辺施設との連携）により、これまでにない交流の場が生まれる<br>・現区役所新館にコミセンと公民館機能が集約化され、葛塚地域の中心部に若者・高齢者・障がい者の活動スペースが設けられる<br>・新庁舎整備や現区役所新館の改修を進めながら、大学との連携を地域と検討を進める |   |  | 【判定：△】<br>・順次施設が廃止となるため、地域衰退が懸念           | ・現状のまま                     |
| ⑤地域のまとまり一体感を形成する  | ●地域の活動が活性化するか<br>●人が集まるスペースや施設が確保されるか<br>●歩いて行ける範囲に地域密着型の拠点があるか      | ○<br>・太田小閉校後は、民間との協定により、一部を地域が利用できる施設として活用   | ○<br>・太田小閉校後は、一部を地域が利用できる施設として活用                                | ○<br>・太田小閉校後は、一部を地域が利用できる施設として活用   | 【判定：△】<br>・順次施設が廃止となるため、地域のまとまりや一体感の低下が懸念 | ・現状のまま                     |
| 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・現区役所新館にコミュニティ機能が集約化され、地域の拠点施設となることで一体感が醸成される<br>・新庁舎に交流スペースが設けられることにより、新たな活動の場が人の集まりやすいところに整備される  |  |  |   |  |   |                            |
| ⑥災害に強く安全な地域をつくる   | ●現状で提供されている避難所機能が再配置後に低下しないか   | ○<br>・太田小閉校後も避難所機能は維持される（事業者との協定による）   | ○<br>・太田小閉校後も市所有施設として避難所機能は維持される                                | ◎<br>・太田小閉校後も市所有施設として避難所機能は維持される<br>・すみれ保育園が複層化され防災機能が強化   | 【判定：△】<br>・太田小閉校後は避難所として使用不可              | ・現状のまま                     |
| 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・新庁舎は、災害対策活動室や拠点備蓄倉庫が設けられるなど、耐震性能も含めて区の防災拠点として整備される  |  |  |   |  |   |                            |
| ⑦アクセスしやすい公共施設配置とする  | ●公共交通等により自宅から公共施設まで、あるいは公共施設間のアクセス性が高まるか<br>●駐車場がどの程度確保できるか          | 【共通事項（新庁舎整備関連）】<br>・現在、区バスや住民バスは、現庁舎周辺の道路にバス停を設置しているが、新庁舎前にバスロータリーの整備及びバス停が設置され、利便性が向上する<br>・施設の再編により、新庁舎付近の駐車スペースが新たに生まれ現状よりも拡大する<br>・コミュニティ拠点として整備する現区役所新館には、駐車スペースが今後も維持される |   |  | 【判定：△】<br>・順次施設が廃止となるため、アクセス性低下が懸念        | ・現状のまま                     |